

ルニ於テハ其人利益ノ一層洪大ナル思フヘキナリ蓋シ器械の木纖維ハ木材一〇〇分ヨリ包紙、板紙等ノ如キ總テ粗製紙ノ原料タル粗質ノ木纖維平均三三分ヲ製出シ得ルニ過サルヘキモ化學的木纖維ヲ製出スルニ於テハ固ヨリ製造費用相嵩マルヘキモ木材一〇〇分ヨリ良質ノ高價ナル木纖維六〇乃至六六分ヲ採製スルヲ得ヘケレハナリ

東印度ハ幸ニ水力ノ利用シ得ラルヘキ場所ニ富ミ且又原料タル樅材ハ前述ノ如ク殆ント無盡藏ニシテ廉價ニ伐出スルコトヲ得ヘキヲ以テ若シ政府ヨリ此ノ製造事業ヲ獎勵保護セラレ、ニ至レハ世ノ資本家タルモノ此ノ如キ有益有望ナル事業ニ向ツテ其ノ資本ヲ投下スルニ躊躇セサルヘキコト蓋シ疑ヲ容ルヘカラサルナリ

雜記

○明治三十一年末全國馬車及電氣鐵道現況

鐵道株式會社	線路長	延長	車輛	馬匹	乘客數	一個年經過里數
東京馬車	四、〇〇・二二	六、一五・五一	二〇一	一、〇三	三〇、〇〇、六五九	一、一八六、七五
品川馬車	一、一一・四四	二、一五・〇一	三五	一一一	一、九四、六四六	一八、七五二
小田原電氣	三、〇四・四一	三、〇四・四一	一八	九〇	四三、一三六	七、五五九
群馬馬車	五、〇〇・〇〇	五、一四・四一	三五	三五	一〇一、七〇	六、四五〇
富士馬車	二、三三・三三	三、〇〇・二〇	八五	三三	三五、〇〇、五	二七、四〇五

○航海獎勵法合格汽船(其六十六乃至六十八)

小田原電氣ハ工事中馬車鐵道ヲ以テ營業シ豊州電氣ハ未開業ナリ

船名	所有者	船種	總噸數	速度	帝國船籍 登錄月日	進水月日	証書日付
三春馬車	三・一〇・〇〇	三・一三・〇〇	八	二六	四二、二二七	一五、三五二	
秋田馬車	一・三三・〇三	一・四・二二	五	一八	九、七五〇	一三、八五五	
京都電氣	三・五・二七	三・五・二七	二元	—	—	—	二、四八二、二七四
豊州電氣	二・四・四五	二・四・四五	—	—	—	—	二、四八二、二七四
函館馬車	三・三〇・四〇	四・五・五〇	二五	九四	一、四六七、三五五	—	—
計 一〇	三二・八・四四	三六・三・四八	四四一	一、六二〇	三六、八七二、八四五	—	—

千八百九十年改正 露國セメント條例(遞信省所管工用セメント)

ト採用規則

第一章 ボルトランドセメント及其成分

第一 ボルトランドセメントハ天然ノ粘土石灰若クハ粘土ニ炭酸石灰ヲ人工ニテ混和シタルモノヲ熔解點迄灼燒シテ之ヲ細末ニ粉碎セシ製產物ヲ云フ

右二件 T, N